

シンポジウム「危機言語」

「危機言語」の国際社会的状況 - 言語維持のための戦略—

日本言語学会(「危機言語」小委員会)主催

10:00 開会(時間厳守)

10:00 - 10:05 日本言語学会会長挨拶

10:05 - 12:05 問題提起

10:05 - 10:45 (1) 国連人権委員会における先住民族の権利宣言を準備する活動について(上村英明)

10:45 - 11:25 (2) 「文化の多様性」を守るユネスコの活動と少数民族の言語に関する二、三
の事例について(野口 昇)

11:25 - 12:05 (3) 特定領域研究「環太平洋の言語」(1999 - 2003)を終えて(宮岡伯人)

12:05 - 13:30 昼食(一階レストラン Latin ほか)・ポスタ - セッション

13:30 - 16:00 問題提起(続)

13:30 - 14:20 (4) 記録保存か、復興保持か - 危機言語への2つの取り組み方をめぐって - (呉人 恵)

14:20 - 15:00 (5) 少数民族言語を守るための国際社会的条件について(角田太作)

15:00 - 15:40 (6) (財)アイヌ文化振興・研究推進機構などの活動について(中川 裕)

16:00 - 18:00 パネルディスカッション(「危機言語」の国際社会的状況 - 言語維持のための
戦略— について)講演者ほかによる問題提起と討論(司会:金子 亨)

12:05 - 16:00 ポスタ - セッション:「危機言語」現地調査報告(会場202)

日時 2004年1月23日(金)午前10時 - 18時
場所 東京神田一橋 学士会館

本会場:202号室

ポスタ - セッション:同302号室

なお、18:30より同会館1階レストランLatinにてレセプションを予定しております。
会費は当日お払いください。